

PRESS RELEASE

報道関係各位

2025 年 7 月 22 日

BYD Auto Japan 株式会社

BYD、「#たすけてブーブー」プロジェクトに参加

「こどもの車中置き去り」事故ゼロの実現に向けて全国の BYD 正規ディーラーも協力

- BYD は、こどもの車中置き去りを防止するため、クラクションを鳴らして助けを求めるアクション「#たすけてブーブー」を啓発するプロジェクトに参加
- 全国の BYD 正規ディーラーで、万が一の際の避難方法を親子で学べる絵本^{*1}やステッカーを配布、啓蒙活動を推進
- BYD DOLPHIN、BYD SEAL、BYD SEALION 7 には、万が一の際、自動的にこどもやペットの車内置き去りを周囲に知らせる「幼児置き去り検知システム（CPD）」を標準装備

^{*1} 『パンどろぼう』などで人気の絵本作家 柴田ケイコ氏による



BYD の日本法人である BYD Auto Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺 厚樹、以下：BYD）は、このたび、2025 年 6 月から開始している、こどもの車中置き去り防止キャンペーン「#たすけてブーブー」プロジェクトに参加。全国の BYD 正規ディーラーとともに、BYD 一丸となり、「こどもの車中置き去り」事故ゼロの実現に貢献してまいります。

「幼児置き去り検知システム（CPD）」を BYD DOLPHIN、BYD SEAL、BYD SEALION 7 に標準装備する BYD は、自動車メーカーの垣根を超えた本プロジェクトに賛同し、痛ましい「こどもの車中置き去り」による事故の防止に、全国の BYD 正規ディーラーと共に積極的に取り組んでまいります。具体的には、車内から出られなくなった時、こどもが自らクラクションを鳴らすことで周囲に助けを求められる方法を親子で楽しく覚えられる絵本『ぶたすけのラッパ（ポプラ社刊）』と本プロジェクトのキャラクターが描かれたステッカーを全国の BYD 正規ディーラーに配布、BYD の「幼児置き去り検知

システム（CPD）」の説明と共にお客様に本プロジェクトの趣旨をお伝えしてまいります。

■ 安全対策でも、「ありかも、BYD！」 BYD の「幼児置き去り検知システム（CPD）」

BYD は車種、車格に関係なく、多くの安全機能を標準装備^{*2}しています。その中でも、「幼児置き去り検知システム（CPD）」は BYD の安全に対する思想を体現した機能となっており、国内外のどのメーカーよりも早く全車に標準装備いたしました。

例えば、日本国内で販売している BYD モデルラインアップの中でも一番小さな BYD DOLPHIN の「CPD」の場合、車両の電源を「OFF」にした状態でドアを閉める、あるいは施錠をすると、自動的にシステムが起動^{*3}。90 秒後から、車内各所に設置されたミリ波レーダーが車内を監視します。システムは、稼働中に車内の動体（お子様やペットが車内に居る状態など^{*4}）を検知すると、所有者のスマートフォンアプリ^{*5}に異常を伝えるとともに、初期警告（ハザードランプの点滅とクラクションによる警報音）を約 6 秒間発報します。それでも救出が行われない場合は、さらに警告を継続し、約 3 分後には自動的にエアコンを作動させ、車内の温度が 26 度になるよう作動し続け、警報を約 30 分間繰り返して行います。



BYD DOLPHIN 幼児置き去り検知システム（CPD）

*2 現在、乗用車を除く幼稚園、保育所、認定こども園、特別支援学校などの送迎バスには、2023 年 4 月 1 日から、置き去り防止装置の設置が義務化されている。

*3 CPD は、パワーバッテリーの残量（SOC）が少ない（15%以下）状況下では作動しません。

*4 車内に紛れ込んだ虫や飲み残しがあるペットボトルの液体が揺れた場合でも、センサーが検知して作動する場合があります。

*5 所有者は BYD アプリを用いて、一部の機能をリモートで操作できることに加え、CPD が異常を検知した場合には、所有者に警報を発報して異常を知らせます。なお、アプリから警報の解除を行うことはできません。

*6 システム自体は、起動後 90 秒以内に警報が発せられるように作動します。

■ BYD の日本での社会貢献

BYD は、自動車産業に関わる日本の企業市民の一員として、日本の皆様の日々の生活や、今回のような命を守るための活動である「#たすけてブーブープロジェクト」は、もっとも大切な企業テーマのひとつであると考えています。

BYD の日本での社会貢献は、2015 年に初めて日本に導入した、走行中に一切、排ガスを出さない電気バスに始まります。以降、全国のバス事業者や自治体を通じて、BYD の電気バスは、それぞれの地域のクリーンで静かな公共交通として高く支持されています^{*7}。また、安全面では、日本で販売する乗用車のうち 3 車種は、欧州の厳しい安全基準である Euro NCAP 5 つ星（最高ランク）を取得しています。

このように BYD は、より安全で明るい社会を目指す日本の企業市民の一員として、今回の「#たすけてブーブープロジェクト」の趣旨に賛同し、協賛することになりました。

*7 現在、BYD の電気バスは、小型、中型、大型の 3 タイプの路線バスをラインアップしており、全国の電気バス市場でトップシェア

を有しています。

■ クルマに乗る人の意識まで変えて、「こどもの車中置き去り」事故ゼロへ。

近年、車中に置き去りにされてしまったこどもの事故が相次いでおり、2025 年現在でも既に数件の事故が起きています。JAF の「子どもの車内事故に関するアンケート調査」では、「こどもを車内に残したことがある」と回答した人が 54.9%という調査結果も報告されており、潜在的な事故リスクが高い状況が続いています。BYD が現在、日本で販売している乗用車のうち 3 車種（「BYD SEALION 7」、 「BYD SEAL」と「BYD DOLPHIN」）には、いずれも「幼児置き去り検知システム（CPD）」を標準装備しています。

■ いのちをまもるえほん『ぶたすけのラッパ』（ポプラ社）も好評発売中！

車の中に閉じ込められた時にクラクションを鳴らして助けを求める方法を、楽しく覚えらる絵本『ぶたすけのラッパ』（ポプラ社）は、「パンどろぼう」シリーズ（KADOKAWA）で人気の高い絵本作家・柴田ケイコさんが絵を担当されています。2025 年 6 月 4 日の発売以降、「楽しみながら大切なことを教えてくれる」「閉じ込められた時のクラクションの重要性を自然に学べる」と話題を呼んでいます。



【本プロジェクトについてのお問い合わせ先】

「たすけてブーブー」プロジェクト事務局 e-mail : webinfo@boobooproject.jp

製品に関するお問い合わせ：

BYD Auto Japan 株式会社 お問い合わせフォーム : <https://byd.co.jp/contact/>

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2025 年 7 月 22 日（火）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。